

# イネ科通信 49

## ヒメコヌカグサ

今年（2015年）の春、神於寺を訪ねた帰り道にヒメコヌカグサに出会いました。コヌカグサのようにも見えましたが、帰宅後、調べたところ大阪府絶滅準危惧種のヒメコヌカグサでした。里山なので巡り逢えたのも不思議ではありません。以下は『日本イネ科植物図譜』（平凡社・長田武正著）より引用して説明します。

山の水湿地にまれに生える多年草で根茎は発達しない。高さ40～70cm。葉身は扁平、長さ7～15cm。幅2～5cm、無毛。

[花期] 5～6月、

[同定のかぎ] 日本産のコヌカグサ属は、どれも包穎に比べて小花が明らかに小さいのに対して、この種だけは小花の方が長いか、または少なくとも同長で、多少とも先に突き出しているのが特徴である。

下の写真はヒメコヌカグサの地上部で、上の写真はその先端部です。

